

社 会

—小学校第2学年用—

注 意

1. もんだいは、先生のさしずをよく聞いてやりなさい。
2. 「はじめ」といったらはじめ、「やめ」といったらやめなさい。
3. 答えは、きめられたとおりに、書きなさい。
4. わからないところがあったら、とばして前にすすみなさい。
5. できたら、なんども見なおしなさい。

福島県教育センター

2 つぎの文の 葉をつくる しごとに かんけいの あるものを 下の □の中から 一つずつ えらんで、 □の中に きごうを かきなさい。

(1) かたくなった 玉を ほりおこして こまかく する。

⑤

(2) そだった なえを 由に うえる。

⑥

(3) 由に 氷を 入れて、玉を やわらかく したいらにする。

⑦

(4) もみがらを とって 葉にする。

⑧

- | | |
|--------|---------|
| ア なわしろ | イ 由うえ |
| ウ もみすり | エ かんそう |
| オ 田おこし | カ だっこく |
| キ しろかき | ク しょうどく |

- 2 -

1

1 つぎの文の 中から、魚がよく うれるように するために、魚やさんが くふうしている ことを 四つ えらんで、 □の中に きごうを かきなさい。

ア あたらしくて ねだんの やすい 魚を しいれる ようにする。

イ うれのこった 魚は、もったいないので、なん日も 店に ならべて おく。

ウ 魚を そろえて ならべたり、ねだんのふだを つけたりして おきやくが かいやすく する。

エ ねだんのふだを つけなくて、おきやくの ようすて ねだんを きめる。

オ うる まえに、笑きな 魚を ぶさく きったり、こおらせた 魚を とかしたり する。

カ かって くれそうな 入に だけ にこにこ する。

キ 魚が いたまない ように、よく ひえる ガラスの いれものに ならべる。

□	□	□	□
①	②	③	④

- 1 -

3 つぎの文は、パン工場を 見学して わかった ことがらです。(1)~(4)の □に あう ことばを 下の □の中から えらんで、□の中に きごうを かきなさい。

パンの おもな ざいりようは、⁽¹⁾ □ ・ きどう ・ ミルク ・ バター ・ しお ・ 氷あめ などです。パンを ふくらますためには、⁽²⁾ □ を います。パンは ⁽³⁾ □ で やきます。パンを 入れる はこは、かならず ⁽⁴⁾ □ を します。

⑨ ⑩ ⑪ ⑫

- | | |
|---------|------------|
| ア イースト | イ トンネルオープン |
| ウ 小むぎこ | エ ミキサー |
| オ フライパン | カ しょうどく |

4 つぎの文の 中から 海で はたらく 入の しごとを 二つ えらんで、□の中に きごうを かきなさい。

ア あみを 海に おろして 魚を とる。

イ 魚を しいれて うる。

ウ 海へ およぎに いく。

エ 魚を トラックに つんで 店へ はこぶ。

オ 魚を そだてて ふやす。

□	□
⑬	⑭

- 3 -